

GPA(Grade Point Average:科目成績平均値)について

(1) GPA 算出の目的

GPA 制度は国際的に利用されている成績評価制度です。履修した科目の成績を 0.0～4.0 でポイント化し、その平均値で表します。高等学校の評定平均値のように、学業結果を総合的に判断する指標として役立ちます。

本学では、厳正な成績評価による学生の勉学意欲の向上や適切な履修計画の策定、教職員による履修指導に役立てることを目的として、全学生を対象に GPA を算出します。

(2) GPA 対象科目

- ① 本学において定める成績区分によって成績認定される授業科目（他学科履修科目を含む）であって、卒業要件に算入できる授業科目
- ② 本学在学中に他の大学（短期大学、高等専門学校を含む）において履修した授業科目又は外国の大学（短期大学を含む）において学修した成果であって、上記①の要件を満たす授業科目

(3) GPA から除く授業科目

- ① 入学前に、他の大学において履修した授業科目又は外国の大学において学修した成果であって、本学における授業科目の履修により修得したものとみなされた授業科目
- ② 本学において、GPA の対象科目から除くことを指定した授業科目
「海外研修」「インターンシップ A・B」（2021.4.1 現在）
- ③ 履修取消し期間（授業時間数の 3 分の 1 以内）に学生から「履修取消し願（履修取消し期間内用）」により申請があった科目
- ④ 履修取り消し期間を経過した後、休学、病気欠席等のやむを得ない事由で学生から「履修取消し願（やむを得ない事由用）」により申請があった科目で、教授会の審議を経て、学長が許可した科目

(4) GPA の種類と算出条件

① 学期 GPA

当該学期における学修の状況及び成果を示す指標としての GPA を「学期 GPA」とし、算出条件を、以下の通りとする。

- ・学期初めに履修登録し、その学期終了時に成績評価される科目とする。ただし、複数の学期に渡って履修する科目は、成績評価される学期の履修科目とみなす。
- ・履修を取り消した科目は含めない
- ・不合格科目も含める

② 通算 GPA

在学中における全期間の学修の状況及び成果を示す指標としての GPA を「通算 GPA」とし、算出条件を、以下の通りとする。

- ・これまでに履修登録し、成績評価された科目とする。
- ・履修を取り消した科目は含めない

(5) GPA の算出方法

グレードおよびポイントは 0.0～4.0 までの 8 段階とし、小数点第 3 位を切り捨て、小数点第 2 位まで求めます。

① 学期 GPA の計算方法

$$\text{学期 GPA} = \frac{\text{(その学期に評価を受けた科目で得た GP} \times \text{その科目の単位数) の合計}}{\text{その学期に評価を受けた科目の単位数の合計}}$$

② 通算 GPA の計算方法

$$\text{通算 GPA} = \frac{\{\text{各学期に評価を受けた科目で得た GP} \times \text{その科目の単位数} \} \text{ の総和}}{\text{(各学期に評価を受けた科目の単位数の合計) の総和}}$$

(6) 通算 GPA と学修成果の獲得状況の目安

通算 GPA と学生の学修成果の獲得状況の到達レベルの目安は次の表のとおりとします。

GPA の範囲	学修成果の獲得状況の目安
3.51～4.00	特に秀逸な学修成果を獲得した。
3.01～3.50	秀逸な学修成果を獲得した。
2.51～3.00	優秀な学修成果を獲得した。
2.01～2.50	良好な学修成果を獲得した。
1.51～2.00	ほとんどの面で合格となる最低限の学修成果の獲得であったが、良好な面がいくつかあった。
1.01～1.50	すべての面で合格となる最低限の学修成果の獲得にとどまった。
0.51～1.00	全体として合格となる最低限の学修成果にわずかに届かなかった。
0.00～0.50	ほとんどすべての面で合格となる学修成果に届かなかった。